

「平成18年度第2回特許ビジネス市」 (電気・電子 / 情報・通信) 開催報告

目次

1. 開催概要 1
1) 開催日時等 1
2) プログラム 1
3) 当日の状況 2
2. 開催結果 3
1) 招聘者・一般参加者の投票結果 3
2) 一般参加者アンケート結果 4 ~ 6

1. 開催概要

「平成18年度第2回特許ビジネス市」は、特許流通促進事業の一環として、電気・電子及び情報・通信分野における特許技術等のシーズを保有する方々から、特許技術の内容・効果、ビジネスプラン、ライセンス条件等を説明していただき、会場の参加者から、これらシーズ技術のライセンス、商品開発のための共同研究、商品の販売協力、事業資金の支援等、各種アライアンスの申し出を募る場を提供することを目的として開催した。

1) 開催日時等

日時:平成18年12月6日(水) 10:30～15:30
場所:大阪・大阪国際交流センター 2階大会議室
シーズ発表案件:7件
参加者数:延べ 140名

2) プログラム

プログラムは、表1の通りである。なお、各シーズ案件については、プレゼンテーション15分、質疑応答10分、アライアンスに関するアンケート5分の計30分の時間配分とした。

表1 プログラム

時刻	発表案件	案件提供者	参加者数
10:30～10:50	主催者挨拶、オリエンテーション		
10:50～11:20	加圧水蒸気アニールを用いたシリコン酸化膜の改質方法および装置	国立大学法人 東京農工大学	81
11:20～11:50	超高感度表面形状検査機	(株)コアシステム	83
11:50～12:20	自己待機電力極小回路	鈴木健氏、鈴木晴美氏	83
12:20～13:20	< 昼食休憩 >		
13:20～13:50	磁気エネルギーを回生する交流電源装置	(財)理工学振興会	98
13:50～14:20	非侵襲型の簡易血糖値計	長崎県	86
14:20～14:50	写真画質のフルカラー先染め織物用織データ生成ソフトウェア	中野浩嗣氏	80
14:50～15:20	画像劣化しない可逆性の圧縮/復元高品位画像処理技術	(株)デジタルアクト	82
15:20～15:30	総評		

3) 当日の状況

当日会場には、金融・ベンチャーキャピタル・民間知財業・シンクタンク・弁理士の各分野からの招聘者6名の他に、一般参加者延べ134名の参加があり、特に金融関係からの参加者増加が注目された。

今回の特許ビジネス市は、発表案件の技術分野を「電気・電子及び情報・通信」に絞っており、参加者が、7案件ともに80名以上で概ね平均していたこと、また会場における質疑応答内容から、各発表案件に強い関心を持っていたとの印象である。

各案件発表後の質疑応答時間には、発表者と招聘者との間の意見交換の他、一般参加者からの質疑もあり、参加者の特許活用に向けた意欲が向上していることがうかがわれた。

また、「電子集計システム」の活用により、案件発表毎に参加者の投票結果を瞬時に集計し、発表内容への興味の有無、売上予測や支援協力の申し出の回答状況をその場で示すことができ、会場を盛り上げることに繋がった。特に今回は、参加者の電子集計システムへの慣れもあってか、各発表案件への関心からか、参加者に対する投票割合が高かったことが特徴であった。

会場脇のロビーに設けた展示ブースには、各案件発表後や昼食休憩時、また、全案件の発表終了後にも多くの人が集まり、より内容に踏み込んだ質疑応答が行われた。さらに、別途準備した個別相談会場では、具体的なライセンス等に関する個別相談が熱心に行われ、今後の成約が期待できる。

最後に、今回の特許ビジネス市に関して、招聘者からの総評。

発表内容が、ビジネスプランを含めて充実してきている。

シーズ提供元が大企業でなく、TLO、都道府県、中小企業等であり、技術移転への参加に広がりを感じられる。

従来以上の成約実績となるよう期待したい。

2. 開催結果

招聘者・一般参加者による発表案件に対する売上予測や、アライアンスについての投票結果(複数回答)及び一般参加者のアンケート結果を以下に示す。

1) 招聘者・一般参加者による投票結果

招聘者・一般参加者による投票結果のまとめを表2に示す。

表2 招聘者・一般参加者の投票結果のまとめ

案件名		1	2	3	4	5	6	7
		加圧水蒸気 アニールを用いたシリ コン酸化膜	超高感度 表面形状 検査機	自己待機 電力極小 回路	磁気エネルギーを回生 する交流電 源装置	非侵襲型 の簡易血 糖値計	写真画質 のフルカ ラー先染め 織物用織 データ	画像劣化 しない可 逆性の圧 縮/復元高 品位画像 処理技術
提供者		国立大学法人 東京農工大学	(株)コア システム	鈴木健氏、 鈴木晴美氏	(財)理工学 振興会	長崎県	中野浩嗣氏	(株)デジタル アクト
単 年 度 売 上 予 測	1億未満	4	2	9	9	7	27	3
	1～10億	15	20	21	14	19	17	15
	10～50億	10	21	13	20	12	1	13
	50億以上	3	10	7	24	12	1	13
	分からない	44	25	26	24	26	18	28
事 業 参 画	ライセンスを 受けたい			1	7			1
	事業化支援 の検討	2	6	3	7	3	2	4
	ライセンス先 の紹介	6	11	18	21	13	13	12
	共同研究先・ 用途開発先 の紹介	9	17	14	12	10	8	11
	資金協力 したい	5	7	1	5	1	3	4
	特に関心 がない	51	32	36	34	41	38	32

2) 一般参加者アンケート結果

一般参加者のアンケート結果を表3～5.3及び図1～3.3に示す。

一般参加者の職属

表3 一般参加者の職属

選択項目	割合 (%)
一般企業(大企業)	17.6%
一般企業(中小企業)	20.3%
金融関係	13.5%
知的財産関連企業	18.9%
大学・公設試験研究機関	5.4%
個人	10.8%
その他	13.5%

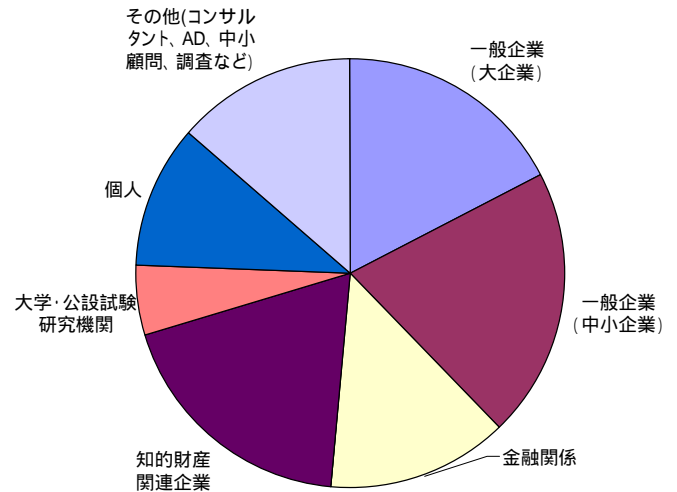


図1 一般参加者職属

一般参加者の職種

表4 一般参加者の職種

選択項目	割合 (%)
研究職	4.1%
知的財産等管理部門	12.2%
経営者	14.9%
技術職	25.7%
事務職	9.5%
その他	33.6%

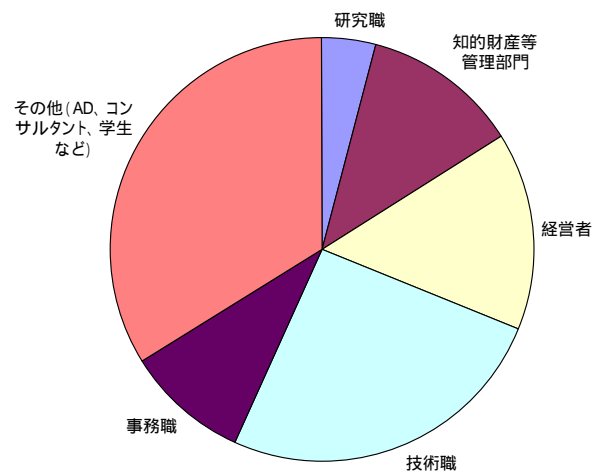


図2 一般参加者の職種

「平成18年度第2回特許ビジネス市」全体について(全て5段階評価)

i) 内容について

表5.1 全体内容の評価

選択項目	割合(%)
大変良かった	18.1%
良かった	56.9%
普通	25.0%
あまり良くなかった	0%

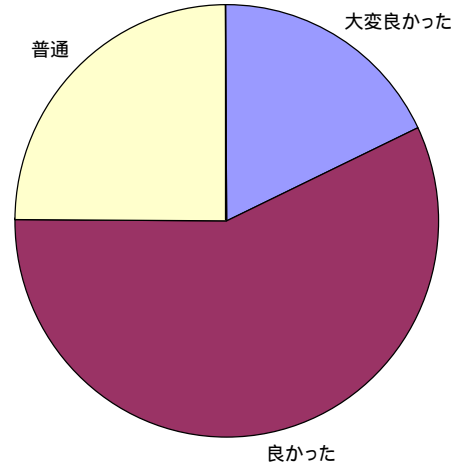


図3.1 全体内容の評価

ii) 案件の選定について

表5.2 案件選定の評価

選択項目	割合(%)
大変良かった	11.1%
良かった	44.4%
普通	41.7%
あまり良くなかった	2.8%

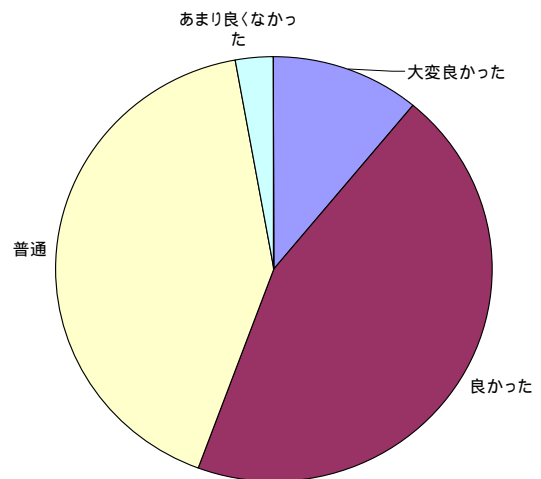


図3.2 案件選定の評価

iii) 今後の継続開催について

表5.3 継続開催に対する意見

選択項目	割合(%)
ぜひ継続してほしい	33.4%
継続してほしい	56.9%
どちらとも言えない	9.7%
あまり必要ない	0%

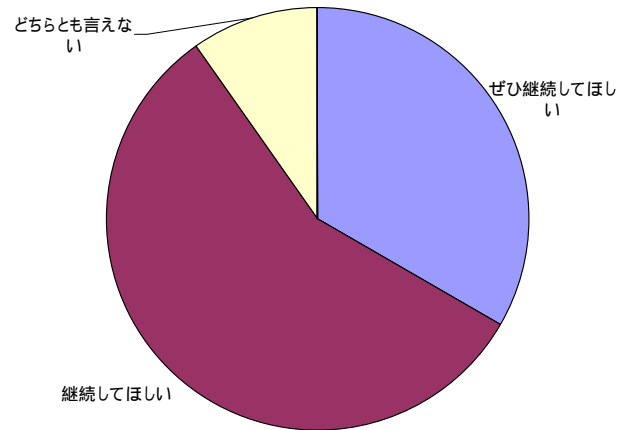


図3.3 継続開催に対する意見